

## 令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

津南中等教育学校

下表のとおり、全国・県平均と比べ、国語は11～11.4、数学は13.8～15ポイント上回っている。また、国語・数学ともに県内の中等教育学校の平均値と同じである。

<平均正答率の比較>

学校名	国語	数学
新潟県立津南中等教育学校	76%	71%
新潟県中等教育学校	76%	71%
新潟県公立中学校・中等教育学校	65%	56%
全国公立中学校・中等教育学校	64.6%	57.2%

※全国の数値以外は、小数点以下を四捨五入した整数値として出されている。

### 1 国語

#### (1) 成果

- ・全ての分野において、全国・県平均正答率を大きく上回った。
- ・特に「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語事項」の正答率が高かった。

#### (2) 課題

- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもち、文章にまとめるといった応用問題の正答率が低い。
- ・語句や文の使い方や段落相互の関係に注意して文章を書く問題で、正答率がやや低い。

#### (3) 対策（課題解決に向けた具体的な取組）

- ・文章の構成や語句に注意して読み取る力をつける必要がある。さまざまな文章に触れながら、構成を確認したり、線やマークをつけてポイントを明確にしたりして、指導の重点化を図る。
- ・物事や文章に対する自分の考えをまとめる学習を多く取り入れ、記述力を伸ばす。

### 2 数学

#### (1) 成果

- ・分野別では、「数と式」の正答率が9割以上であり、正確に計算できている。
- ・「図形」や「関数」、「資料の活用」分野においても知識を問う問題は、正答率が9割以上であり、基礎的事項が習得できている。

## (2) 課題

- ・「図形」「関数」分野では、事柄が成り立つ理由を説明する問題の正答率が低い。
- ・「資料の活用」の分野では、データの傾向を説明する問題の正答率が低い。

## (3) 対策（課題解決に向けた具体的な取組）

- ・問題解決の方法を学び、問題を数学的に説明する課題解決学習を適宜取り入れる。
- ・「資料の活用」分野では、統計データを的確に捉え、判断できるよう、考察させる学習に重点をおくとともに、県の統計出前講座などを利用し、統計についての幅広い見方を育てる。

<資料> 生徒質問紙の集計から読み取れる当校生徒の様子

### ○家庭学習時間

	当校	県内	全国
平日 3 時間以上	1 1. 8	4. 1	1 2. 3
平日 2 時間以上	3 1. 4	2 1. 3	2 9. 5
休日 3 時間以上	1 3. 7	5. 8	1 0. 2
休日 2 時間以上	2 9. 4	1 4. 0	1 6. 0

平日の当校は全国平均にほぼ等しいが、休日に 2 時間以上学習する生徒の割合は高い。

### ○よい傾向にある項目

- ・ゲーム(オンラインを含む)を長時間やっている生徒は少ない。
- ・学校に行くことを楽しいと感じている生徒が多い。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う生徒が多い。
- ・国語、数学とも学ぶことの大切さを意識している生徒が多く、特に数学は顕著である。  
また、数学では説明の必要な問題に、最後まで解答を書こうと努力した生徒が多い。
- ・コロナ禍の休校中でも、計画的に学習できた生徒が多い。

### ○課題となる項目

- ・いじめについて、絶対にだめと否定できない生徒が 2 割程度存在する。  
→「人権教育強調週間」において、「同和教育を中核とした人権教育」と「いじめ」を関連させて扱うなどすることで、人権に対する明確な知見を育てたい。
- ・日常的に英語を使う機会が減っている。(コロナ禍による ALT 不在の長期化)  
→10月11日(月)より新しい ALT の着任が決まった。

### ○特徴的な項目

- ・ネット利用のルールは緩いものの、長時間ゲーム等を行っている生徒は少ない。また、ネットを通じた調査や調べ学習が適切に行われている。
- ・自己肯定感や自己主張は低くて控えめであるが、粘り強く前向きであり、対話や相手を大切にする傾向にある。